

# 京大理学の 新しい芽を知る! 未来につながる 理学のポテンシャル



京都大学大学院理学研究科では、2015年に後援者、同窓生、学生、教職員を構成員とする「京都大学サイエンス倶楽部」を立ち上げ、以降、毎年11月に「理学の新しい芽を育む」をテーマに、メンバー相互の交流と親睦を図り、連携を深めることを目的として「サイエンス倶楽部デイ」を開催してきました。

今年度は、これまで倶楽部メンバーに限定して開催してきた講演会等(11/6(土))を公開イベントとして企業や研究機関の方にもご参加いただけるようにするとともに、博士課程大学院生等の若手研究者約50名との交流を目的とした研究交流会(11/22(月))を新たに設けて、オンラインにて開催いたします。あわせて、それら若手研究者たちの研究紹介動画も配信します。

未来につながるイノベーションを共創できる京大理学のポテンシャルを体感いただく機会となっておりますので、是非お申込みください。

## 日時

### ●第一部(講演会)

2021年**11月6日(土)** 14:00-16:40

(申込締切:2021年11月4日(木) 17:00)

### ●第二部(研究交流会)

2021年**11月22日(月)** 13:30-17:30

(申込締切:2021年11月18日(木) 17:00)

### ●研究紹介動画公開

2021年**11月1日(月)~12月28日(火)**

## 方式

オンライン開催(ZOOMなど)

## 参加費

無料

## 定員

### ●第一部

200名程度(先着)

### ●第二部

100名程度(抽選)

主催: 京都大学大学院理学研究科

共催: 京大オリジナル株式会社

後援: 一般社団法人産学協働イノベーション

人材育成協議会(C-ENGINE)

京都大学産官学連携本部

申込・詳細 <https://www.kyodai-original.co.jp/?p=13556>



## お問合せ

### ●第一部内容について

京都大学大学院理学研究科 附属サイエンス連携探索センター

TEL: 075-753-9413 E-mail: 050sacra@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

### ●第一部申込、第二部申込・内容について

京大オリジナル株式会社 コンサルティング事業部

TEL: 075-753-7766 E-mail: event1@kyodai-original.co.jp



第一部 講演会 〈2021年11月6日(土) 14:00-16:40〉

14:00-14:40 講演会挨拶・研究科紹介・質疑応答  
國府 寛司(京都大学大学院理学研究科長・理学部長)

14:50-15:45 学術講演会1  
「多元素ナノ合金技術が切り拓くサイエンスと未来」  
北川 宏(京都大学大学院理学研究科 化学専攻 教授)

15:45-16:40 学術講演会2  
「腸という秘境を訪ねて」  
高橋 淑子(京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻 教授)



若手研究者約50名による研究紹介動画の一般公開 〈2021年11月1日(月)~12月28日(火)〉

<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/event/club/2021/>



- 【紹介例】
- ・「リー群の可換元のなす空間のホモトピー論」(数学・数理解析専攻)
  - ・「対称性のその先へ」(物理学・宇宙物理学専攻)
  - ・「コバルトの遍歴電子が示す特異な量子物性の探求」(化学専攻)
  - ・「画像解析を用いた新しい微細藻類定量手法の開発」(生物科学専攻)
  - ・「植物の形態進化と遺伝子発現制御ネットワークのコピー&ペースト」(生物科学専攻)

11/1(月)から  
公開予定

第二部 研究交流会 〈2021年11月22日(月) 13:30-17:30〉

13:30-13:40 オリエンテーション

13:40-15:00 研究交流会1(博士課程大学院生12名との交流)  
(休憩)

15:10-16:00 理学研究科(研究科長、産学連携担当等)との意見交換  
(休憩)

16:10-17:30 研究交流会2(博士課程大学院生等の若手研究者約50名との交流)

理学研究科長からのご挨拶

京都大学大学院理学研究科には、これまで多くの方々からご厚志を頂戴し、それを学生への奨学金や研究科の諸活動に役立てさせていただいております。サイエンス倶楽部デイはそのようなご支援をいただいた方々に、研究科での教育や研究の様子をご覧いただく場として開催してまいりました。

一方で、理学という基礎学問分野でも、社会とのつながりを全く考えないで研究や教育活動はできないことはいうまでもありません。特に最近のSDGsなどからもわかるとおり、持続可能な未来社会の構築のためにも基礎科学の有用性、貢献への期待は大きく、1例を挙げれば今年7月から経団連と数学者の間で数理活用産学連携イニシアチブという取り組みが始まったように、数学や自然科学の分野からの社会への貢献に対する期待は、これまで以上に大きいものがあります。本学理学研究科でも、このような国内外の状況を背景に、理学という、基礎科学の中でもとりわけ基礎にある学問分野こそが持っているポテンシャル、未来社会に向けた貢献の可能性を探るような、京大理学らしい産学連携のあり方についても考えた、研究科のいろいろな場で議論をしてまいりました。

その手始めとして、今年度のサイエンス倶楽部デイを、これまでの形から発展させ、産学交流の機会ともするべく、今回の企画を考えています。多くの皆さまのご参加をいただき、本学理学研究科の教育や研究の最前線をご覧いただくと共に、京大理学らしい産学連携や社会貢献のしかたについてのご意見やご提案をいただけましたらと願っております。皆さまのご参加を心待ちにしております。

國府 寛司 京都大学大学院理学研究科長・理学部長



【注意事項】

■Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには、お答えしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生した、視聴できないといったトラブルにつきましては個別の対応はございません。予めご了承ください。

■次の行為はお控えください。

- ・本イベントの全部又は一部を第三者に提供する行為
- ・本イベントの録音、録画、撮影、その他複製行為
- ・同時に二台以上のデバイスで本サービスを利用する行為